

受付印		家事 審判 申立書 事件名(財産分与)	
		調停	
貼用収入印紙 円 予納郵便切手 円 予納収入印紙 円		この欄に 申立手数料 としての収入印紙をはる(はった印紙に押印しない)。 (1件について甲類審判 800円分 印紙 乙類審判1,200円分 調停1,200円分) (注意) <u>登記手数料としての収入印紙を納付する場合は、登記手数料としての収入印紙は、はらずにそのまま提出する。</u>	

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	--------------------

○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 (又は法定代 理人など) の署名押印 又は記名押印	乙 川 春 子 (印)
-----------------------------------	---	--------------------

添付書類	※標準的な申立添付書類については、手続の概要と申立ての方法のページの中の「申立てに必要な書類」欄をご覧ください。
------	--

申 立 人	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都 道	
	住所	府 県 〒 ○○○ - ○○○○ 電話 ○○○ (○○○) ○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号 ○○マンション○○○号 (方)	
	連絡先	〒 - 電話 () (注:住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。)(方)	
	フリガナ 氏 名	オツカワ ハルコ 乙 川 春 子 大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成	
	職 業	会 社 員	
※ 相 手 方	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都 道	
	住所	府 県 〒 ○○○ - ○○○○ 電話 ○○○ (○○○) ○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号 (方)	
	連絡先	〒 - 電話 () (注:住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。)(方)	
	フリガナ 氏 名	コウノ イチロウ 甲 野 一 郎 大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成	
	職 業	会 社 員	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨
相手方は申立人に対し、財産分与として金〇〇〇万円を支払うとの調停を求めます。
申 立 て の 実 情
1 申立人と相手方は、平成〇年〇月〇日婚姻し、一男二女をもうけましたが、相手方の異性関係が原因で、夫婦関係が破綻し、平成〇年〇月〇日未成年者らの親権者を申立人と定めて協議離婚しました。
2 相手方は、〇〇会社に勤務し約〇〇〇万円の年収を得ており、また、別紙の財産目録記載の不動産を所有しています。
3 申立人は、婚姻当時勤務していた会社に平成〇年〇月〇日まで勤務し、その後、平成〇年〇月から現在に至るまで、パートタイマーや正社員として勤務しました。
4 申立人と相手方が婚姻した当初は、資産というべきものではありませんでしたが、申立人と相手方が協力して蓄えた資産によって、前記不動産を購入し、別紙の財産目録記載の預金をしました。
5 このように、申立人の稼働及び家事労働による寄与によって、相手方は前記不動産を取得し、預金をしたのですから、財産分与として不動産の時価の2分の1に該当する金員と預金の2分の1の金員の支払を相手方に求めましたが、相手方は話し合いに応じようとしないので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

(注) 太枠の中だけ記入してください。

財 産 目 録（土 地）

番 号	所 在	地 番	地 目	面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	〇 番	宅 地	平方メートル 1 5 0 〇 〇 〇	

財 産 目 録（建 物）

番 号	所 在	家 屋 番 号	種 類	構 造	床 面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目 〇番地	〇番〇	居 宅	木造かわ らぶき平 家建	平方メートル 9 0 〇 〇 〇	

財 産 目 録（現金，預・貯金，株式等）

番 号	品 目	単 位	数 量（金 額）	備 考
1	〇〇銀行定期預金 （番号〇〇〇－〇〇〇〇）		8 0 0, 0 0 0 円	
2	〇〇銀行普通預金 （番号〇〇〇－〇〇〇〇）		2 0 0, 0 0 0 円	